

サマーセミナーin 鳥取 2023 取材ルポ④

8月23日、鳥取大学医学部附属病院に実習に来ている医学生さん取材しました。
井野寿音さん（鳥取大3年）です。



井野さん)私は大阪府出身で鳥取大学に入学しました。

私、実は鳥大病院広報誌「カニジル」で医学生を紹介する連載を書かせていただいています。カニジルを通して病院の先生方と関わることができ、勉強のモチベーションになっています。

ちなみに、椎名林檎さんのファンクラブに入っていて、今回実習を担当してくださった細谷先生と共通の趣味です。

Q1.鳥取大学医学部附属病院を希望した理由は？

A1. 外科系に興味があり、カニジルのお仕事の関係で親交が深まった乳腺外科の細谷先生の医師として働く姿を病院で見たいと思ったからです。

Q2.実習の感想を教えてください。

A2. 2日間実習をしました。1日目は乳腺外科の手術見学、2日目の今日は乳腺外科の外来見学をしました。細谷先生の患者さんへの説明がとても分かりやすく、自分に話してくれている気がしました。診療の合間にもいろいろ質問したことに答えてくださり嬉しかったです。細谷先生は患者さんからの信頼も厚く、病気以外の生活のお話などについても相談を受けておられ、先生カッコいい、一緒に働きたい！と思いました。



(写真：乳腺外科外来の見学の様子)

Q3. 将来の志望や働くイメージを教えてください！

A3. TVドラマで見た、ミニスカート&ハイヒールで「わたし、失敗しないので」が決め台詞の女性医師にあこがれて外科医に興味を持ちました。今回の実習で、手術や外来など細谷先生の忙しい姿を見て、自分も将来同じように働けるか少し不安にはなりましたが、これから頑張って細谷先生のように患者さんに信頼されるような医師になりたいと思います。

医局では、実習以前から親交があるということで楽しく談笑しながら実習を振り返っておられました。井野さんにとって、細谷先生は憧れの存在「ロールモデル」のようです。

キャリアについて相談できたり、目標とする先輩医師がいると心強いですね。



(写真：実習後にふりかえり談笑されるお二人)

<細谷恵子先生からのコメント>

井野さんの乳腺外科医への熱い想いが伝わってきてとても嬉しかったです。
このような病院実習企画があると、臨床実習の前にも病院内での様子を見ることができて、
低学年のうちから目指す医師像や目標設定ができて良いと思います。今後もぜひサマーセ
ミナーを続けてほしいですね。

井野さん、細谷先生、ありがとうございました！（紙本）